

審判講習会 参加報告書

平成29年 4月24日  
報告者 白石 義人

この度参加しました、審判講習会について報告します。  
なお、この報告書が、審判委員会ホームページ等に掲載されることを了承します。

<b>講習会名 (大会名)</b>	第7回関東 CUP 車椅子バスケットボール大会
<b>参加者 (報告者)</b>	白石 義人
<b>期 日</b>	平成29年 4月 8日 (土) から 平成29年 4月 9日 (日)
<b>会 場</b>	さいたま市記念総合体育館
<b>講 師</b>	杉山兼芳氏 齋藤登氏
<b>参加者</b>	関東、東北地区審判員他
<b>報告① □ ゲーム</b>	<p>□ ゲーム LAKE SHIGA 対 関東選抜 主審 齋藤登 副審 野地宏 副審 白石義人(報告者) コート主任 大伴与志彦 氏</p> <p>■ ミーティング内容 まず講習会に先立ち、講師より講習会のテーマ『挑戦』『CHANGE』と発表があった。 新マニュアルになり、誰も新しい挑戦をする、変わる時だというお言葉をいただいた。</p> <p>プレカンファレンスにて、新マニュアルも大切だが、まずは目の前の判定に挑戦してみようと齋藤氏よりアドバイスをいただいた。第一試合というのもかなり緊張したが、確実にプレーをとらえて判定しようと試みた。前半動きや表情が固かったが、後半になりようやくプレーにマッチした位置取りが出来だした、もっと早い段階でプレーの展開に合わせれるようにしたかった。</p> <p>主任より、バックコートでのリスタート時に選手にボールを渡してから笛をくわえている、プレーの始まりを逃さないために、笛をくわえてからボールを手渡せるように癖つけてほしいとアドバイスをいただいた。</p>

<p><b>報告②</b> □ ゲーム</p>	<p>□ゲーム 関東選抜 対 パラ神奈川 主審 立田裕志 副審 大伴与志彦 副審 白石義人（報告者）コート主任 山本 勉 氏</p> <p>■ ミーティング内容 プレカンファレンスにて、ローポインターに高い技術の選手がいるので、プレーの見方とセンターの位置取り、2 パーソンになった時のプライマリーの確認等入念に打ち合わせしていただいた。</p> <p>自身2ゲーム目という事もあり、失敗を恐れず挑戦してみたいと試合に臨んだが、出だしは選手のスピードと展開の早さに遅れをとってしまった感があった。ポジション取り争いのプレーの始まりがとらえきれず、判定できないシーンが度々あった。</p> <p>主任より、リードがローテーションをかける時に、トレイルからセンターに動くタイミングが遅い、リスタートの再 OK サインを出す度に目の前のプレーから目を切ってしまう、プレーが始まっていない時でも選手から目を離さないようにとお言葉をいただいた。</p>
<p><b>報告③</b> □ ゲーム</p>	<p>□ゲーム 千葉ホークス 対 栃木レイカーズ 主審 免田佳子 副審 小野裕樹 副審 白石義人（報告者）</p> <p>■ ミーティング内容 プレカンファレンスにて、新マニュアルの徹底と一番難しいセンターの位置取りの仕方について入念に打ち合わせしていただいた。特に敗者戦とはいえ両チーム共レベルの高い選手が揃っている、展開をどう捉えていくかの準備を怠らないように、3人の協力をしっかりやっていく事を話し合った。</p> <p>試合の序盤から難しい展開が多く、早い段階から小野さんがリードして判定基準を示してくれて、それにのっかる事ができたが、3秒バイオレーションを同じ基準で吹けなかったり、自分のプライマリーで判定できなかった所をセカンダリーから助けて頂いたり、自分の基準の甘さを痛感させられた。</p>
<p><b>報告④</b> □ ゲーム</p>	<p>□ゲーム 埼玉ライオンズ 対 ワールド BBC 主審 齋藤登 副審 白石義人（報告者） 副審 末 政弘 コート主任 松元 健 氏</p> <p>■ ミーティング内容 3位決定戦のファーストアンパイアに割当をいただき、感謝とともにこの2日間の集大成を出し切って期待に応えたいという強い気持ちで試合に臨んだ。</p> <p>難しい判定にも積極的にチャレンジしたので、間違いも多かったかも知れないが、最後まで継続して吹き続ける事が出来、前の3試合で指摘いただいた事もすぐに修正できたと実感した。</p> <p>試合中2度、自分では判定予測ができなかった所を齋藤氏に助けていただいて、現在の自分の力の無さを感じたが、次に同じ出来事が起こった時は必ず判定できるようにする事を最後のミーティングでも話した。</p> <p>主任よりグッドゲームだったとお言葉をいただいた。</p>

<p><b>所感</b></p>	<p>今回、関東 CUP という大変レベルの高い大会に挑戦させていただき、とても貴重な経験をさせていただきました。特に日本車椅子バスケットボールの第一線で活躍されている方々のお言葉やレフェリングを間近に触れることができたのは、御配慮いただいた方々に感謝しかありません。大会のテーマ『挑戦』『CHANGE』も、自分にとってとても素晴らしい課題でした。</p> <p>5月には障害者スポーツ大会のリハーサル大会があり、まずはそこに向けて切磋琢磨していく事、準備を怠らない事が自分に課せられた使命だと感じています。</p> <p>そして、本大会でも応援していただいている方々の期待を裏切らないよう、頑張っていきたいと思っております、ありがとうございました。</p>
------------------	---

※ 原文のまま、ホームページ等に掲載されます。

※ 用紙が足りない場合は、各自追加してください。